

社会福祉法人 あいのわ福祉会

あかしあ

AKASHIA

- 発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会 理事長 岸本美恵子
- 連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4-30-5
電話 03(3849)1188
FAX 03(3849)7001
- 印刷 足立区大谷田就労支援センター
法人ニュース「あかしあ」隔月25日発行

新年を迎えて

理事長・岸本美恵子



穏やかな新年の幕明けでしたが、蟬梅のほのかな香りに春への一步を感じます。昨年12月には、障がいのある人が、地域で安心して住み続けられる礎となるよう願い、あいのわ支援センター谷中を開設いたしました。

各方面から、暖かいご理解をいただきましたことに心から感謝いたします。

支援センターには、多様なサービスへの期待がたくさん寄せられています。今後とも居宅、地域支援の核となる位置付けで、法人全体で支えてまいります。

更に、今年4月から、神明障がい福祉施設の3事業は、指定管理施設から移行して、法人立施設として再スタートを予定しております。

当法人は、どんなに障がいが増えても在宅にさせないという強い願いで設立いたしました。早いもので、認可されてから今年で17年目になります。

今、親の高齢化、病気等により、家庭内支援の限界が、あちこちに見られ、合わせて通所施設では、障がいのある人の二次障がいや医療ケアが顕著です。

現在、仮称、障害者総合福祉法が、25年8月制定に向けて検討されています。行方を見守りながらも障がいのある人の地域生活や、ご家族をどう支えていくのか、道筋を明らかにし、職員と共に努力を惜しまない姿勢で、進んでゆきたいと念じています。

旧年にも増して、後援会の皆様はじめ、行政や関係の方々のご理解、ご支援をお願い申し上げます。



新年のご挨拶

後援会長 秋山啓司



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかな明るい、お正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。

私の所属する、東京綾瀬ライオンズクラブでは、昨年9月に、足立あかしあ園の「ふれあいフェスタバル」に出店参加いたしました。当日は気温が30度以上あり、大変な暑さでしたが、それにも増して会場は大勢の人々の賑わい熱気で大いに盛り上がり、団体参加し協力できて、よかったですと思っております。

翌月の10月には、荒川の河川敷の「足立まつり」で、わがクラブが毎年行っている献血活動に今度は、あいのわ福祉会より、多くの方々に参加、協力をいただきました。土曜日、日曜日の2日間わたり車椅子利用者の方4名と保護者、そして理事長はじめ、皆さんには、途切れることない通行人に、大きな声で献血の呼び掛けをしていただきました。献血された人に景品を渡す役目は、車椅子から長時間、努めてくれました。健常者と身障者との協働の輪が広がり、清々しく、心温る光景でした。

ちなみに、今期ライオンズクラブ国際会長のテーマは「希望の光」でした。我われは、荒海を航海する船舶を安全な航路へと導く、灯台の光のようになりましょう。

地域社会はもとより、世の中全体が、明るくなるよう、よくなるよう力を合わせていきましょう、という主旨のものでした。

今年も、少しでも明るく、安全で安心して暮らしてゆける社会でありますよう、微力ですが尽力してゆきたいと思っております。

どうか、本年も倍旧のご指導、ご支援の程をお願い申し上げます。結びに当法人の事業、並びに運営施設の発展と皆様のご多幸を祈念し新年のご挨拶いたします。

足立あかしあ園だより

新年明けましておめでとございませう。

23 年もスタートしましたね。本格的な冬の到来で、体が縮こまってしまっているのですが、気持ちもシャッキリいきたいですね。

足立あかしあ園では、年末恒例の利用者企画による忘年会が昨年末に楽しく行われました。日ごろお世話になっているボランティアさんなどを招待し、厨房スタッフによるパスタやピザなど、クリスマスらしいメニューで舌鼓を打ちながらも皆さんペロリと食べていましたよ。

これまでの各グループでの出し物から、今回はマジックと、利用者の代表のカラオケで歌うのがメインの催しでした。マジックを披露していただいた方々の、次々に起きる不思議なマジックに、みんな目を丸くして見入っていました。みんな、おなかも気持ちも大満足の 1 日となりました。

お正月気分も抜けませんが、楽しいことがたくさんある素晴らしい 1 年となるように頑張っていきたいと思っております。今年もどうぞよろしくお願致します。(塩田)

綾瀬あかしあ園だより

新年あけましておめでとございませう。本年も綾瀬あかしあ園を宜しくお願い致します。

今は、次年度へ向けて準備を着々としているところです。みんなであでもないと言えながら土台作り奮闘しています。

今のところ予定しているのは、保護者の皆様と、利用者、ご家族の将来にむけた合同の勉強会の定期開催、施設全体旅行の実施、日中活動での入浴支援の開始、2 年先の平成 24 年度へ向けたグループ体制の見直し等様々です。日々の業務に流されず、チャレンジ精神を忘れず、足元をしっかりと見ながら、利用者さんにとって、ご



家族にとって、職員にとって「ほっと、いつしよに、いきいき」とできる 1 年になればと思います。去年よりも、今年、今年よりも来年と一歩ずつ、背伸びしすぎず、みんなが進んでいければと思います。

竹の塚あかしあの杜きずな (生活介護入所) だより

新年、あけましておめでとございませう。

この原稿が届く頃は、お正月気分も抜け、新たな 1 年へ向けて、皆様邁進されていることでしょうか。

私は今、年末の少し忙しい空気の中で、この原稿を書きながら、2010 年を振り返っています。

日本国内でも色々な事がありました。他国とのトラブル、宮崎の口蹄疫、早々とした総理大臣の交代など、どちらかというと、あまり気分がよくならないような事が多く思い浮かんでしまうのは、私だけでしょうか。

きずなでの 1 年を振り返ってみました。6 月には、のぞみときずなのコラボ企画などを行った杜祭、9 月はディズニールランド、11 月は下部温泉への旅行、その他数多くの行事・活動を行なってきました。

自分自身深く関わった企画・行事を

思い返したり、また施設の廊下に貼られている、今まで行なった様々な活動の写真を眺めていると、自然と暖かな気持ちになります。

当然楽しいことはかりではありません。正直大変だった事も数多くありました。でも 1 年を振り返った時に、自然と笑みが浮かぶような思い出がいっつもあるということは、特に今の時代、とても貴重なことなのかも知れません。

2011 年のきずなも、みんなが 1 年を振り返った時、「きずなでよかったなあ」と思えることを、今までより少しでも多く残していくことができるような、そんな 1 年にしていければと思います。(中村)

竹の塚あかしあの杜のぞみ (生活介護通所) だより

明けましておめでとございませう。

のぞみでは年末に自治会企画の忘年会を盛大に行い、みんなで楽しみました。行われたのが 28 日の通所最終日だったので、みんなで少し遅いクリスマスプレゼント交換を行いました。毎年違った方法でのプレゼント交



換で今年もみんな何をもらえるか、どんなものが来るのかとドキドキのプレゼント交換会になりました。自治会企画の中にはサプライズで職員の結婚を祝う会が行われました。自治会からの提案で、



当日は花束を贈り、奥様から手紙をもらい、結婚式の写真でスライドショーを見たりなどして感動的な会になりました。本人たちも全く知らなかったのでビックリした姿をみて、ほっと一息ついている自治会メンバーもいました。11日に成人を祝う会が行われました。のぞみで行われるのが2回目となり、年明けの前から利用者、職員は準備に取り掛かっていました。詳しい内容は次号でお伝えできればと思っています。(高見)

大谷田就労支援センター 大谷田ホームだより

12月1日より、就労継続支援B型パソコン事業室の仕事として、法人メール便の受託が始まりました。法人メール便は、竹の塚あかしあの社にて運行されていたのですが、メール便担当の方の職務内容の変更により実施が

困難となったことを受け、大谷田就労支援センターの事業として取り組みたい旨、法人運営会議に提案させていただきます。です。

大谷田就労支援センターは車通勤をされている利用者の方が3名いらっしゃいますが、今回は、この内2名の方に担当していただいています。事業所としては、準公用車管理規定を整備し、利用者の方の私有車両を公用として使用する場合の人命の保護、車両の保全、安全な運転ならびに効率的な使用について内規として整備し、利用者の方から一定の条件で私有車両を借り上げる形をとっています。

国においては、就労継続支援B型事業所などに対して、工賃引き上げ計画の策定および目標達成に向けた積極的



な取り組みを奨励していますが、東京都においても、東京都工賃アップ推進プロジェクトにより工賃増計画を定め、福祉施設の経営努力を促すとともに、その努力が結実するよう、事業所の目標とすべき工賃を設定することもに、工賃アップに資する基盤整備や仕組み作りなど多様な支援策を講じ、国の取り組みを支援しています。そんな中、大谷田就労支援センターでは中期計画を策定し、新規事業の検討や、日常作業の見直しを進めている折りでもありました。

担当されている2人の方は道路事情にも詳しく、区内に出かける際にもナビをセットし、オロオロと運転している私に比して、効率的で安全に業務に当たっていただいています。

竹の塚あかしあの社ではメール便の置き場所を1階に変更していただくなど、各事業所のメール便窓口の皆さんにはお気を使っていたいただき、あらためてお礼を申し上げます。ビジネスとしてお受けした仕事で甘えは許されませんし、安心、安全、確実をモットーにがんばってまいりたいと思います。ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。(萩原)

神明福祉園だより

新年あけましておめでとございま

す。昨年中は大変お世話になりました。本年も、変わらぬご支援を、よろしくお願致します。

11月に地域の中学生と一緒にクリーンアップ作戦で地域清掃を行いました。中学生も利用者もお互いに戸惑いながらも拾ったゴミを中学生に渡したり、ちり取りを持って落ち葉を拾ったり、少しの間でしたが、中学生との良い交流となりました。今後このような交流の場は大切にしていき、地域に根ざしたいと思えます。12月は、区役所で行われたアイデア作品展に福祉園も各班が出展しました。

アース班とコスモ班の利用者が外出で作品展の見学を行いました。当日は、ピガールとデニーズに別れて



昼食を食べて、その後作品展の見学を行いました。

色々な作品や、自分たちの作品をじっくり見ていました。

作品よりも食事が楽しみだった利用者も：それぞれが違った楽しみ方で作品展の見学を行いました。

作品展に出展した作品は、ロビーや各班の廊下に掲示してありますので、見逃してしまっただ方は是非ご覧下さい。どれも特色のある良い作品になっています。(永池)

神明デイサービスセンター だより

新年あけましておめでとございます。神明デイサービスでも穏やかな新年を迎えました。

さて、前回の法人ニュースでお知らせした通り、11月18日にEWFを開催いたしました。当日はお天気にも恵まれ、たくさんのお客様が来て下さいました。

デイサービスのフラダンス発表は男女ともに利用者さんが増え、「ニューウェーブ」とも言えるようなノリの良さ！応援に来てくれた利用者さんも多く、アン



コールでは「やんや」の大喝采！音楽のリハビリターターズ・気功体験も例年通りの盛り上がりでした。

また、今回初めて「絵手紙体験」を行いました。「初めて描く」というお客様も、講師の丁寧なアドバイスで、世界に1枚だけの絵手紙を作り上げ、とても嬉しそうに笑顔でした。

12月には足立区役所で開催された障がい者作品展に出品することも見学に出かけました。

区内の様々な障がいのある方々が作った作品に触れ、アイディアと励ましの力をいただいた気がします。

惜しくも開催中に行けなかった曜日の方は、足立区生物園に行き、珍しい魚や小動物を間近に見て束の間童心に：と、賑やかなまま平成22年を終え、新たな気持ちで平成23年を過ごしてゆきたいと思っております。



どうぞよろしくお願いたします。(倉成)

神明福祉作業所だより

去る11月14日に、神明障がい福祉施設の全体行事である「第21回イ

ストウエーブフェスティバル」を実施しました。当日は、天候にも恵まれて、お隣の住区センターと一緒に開催することが出来ました。今回もたくさんの方々に

手伝いして頂き、利用者さんも楽しく参加されていました。後日、利用者さんから感想を聞くと「楽しかった。お客さんもたくさん来てくれて嬉しかったです。」と多くの答えがあがっていました。お手伝いして頂いたご家族、ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

また、あおぞらグループでは12月24日までは箱折りや官公需作業を行い、最後までよく働きました。外出活動では、12月9日に「買い物外出」で新三郷のららぽーとへ行きました。買いたい物や欲しい物



を事前に決めていましたが、当日になるといろいろな商品を見て財布の中を確認しながら買いたい物を楽しんでいました。かりんグループは暖かい恰好で散歩に出かけています。郷土博物館まで散歩をしている時に、木々の葉のあざやかな色の変化や落ち葉などを見かけ、身近なところで季節の移り変わりを実感できました。

昨年の神明福祉作業所は、仕事や活動に積極的に取り組んできました。酷暑だった異常気象の年でしたが体調を崩す人も少なく、心身ともに充実した年でした。今年もウサギのように軽快に跳ねることができるようフットワークよく頑張っていきたいと思えます。今年もどうぞよろしくお願いたします。(大谷)

グループホームオハナだより

あけましておめでとございます。昨年は大変お世話になりました。

さて、年末のオハナでは、12月24日に、保護者の皆様をご招待して、クリスマス会を開催しました。日ごろお子さんのため、ご家族のために奮闘されている保護者の皆様に楽しい時間を過ごしてもらえよう、利用者や支援者が一丸となって、料理作りや飾りつけを行い、さらに、みんなで楽器演奏と歌を披露するために、11月からこそ

りと練習を行って
きました。

本番当日、オー
プニングとして、
楽器演奏と歌を披
露！練習の時よ
りも、1人1人、
最大限に力を発揮
し、名演奏を披露



演奏しているお子さん達の姿に、保護
者の皆様は写真を撮ったり、感動した
り、一緒に歌ったり...、大いに盛り上
げてくれていました。心から楽しまれ
ている保護者の姿に支援者自身も感動
していました。

そして、会食では、この一年間の
オハナでの活動をフォトムービーに
し、みんなで見ながら、「ご飯を食べま
した。みんな自分の写真が写ると、
「私！私！」「オレ〜！」と猛アピ
ル!!「ご飯よりも自分の写真に夢中にな
っていました。また、みんなで作った
ハンバーグや餃子は、保護者の皆様
にも大好評で、あつという間になくなっ
てしまいました。

終盤、保護者の皆様から頂いた、豪
華なクリスマスケーキも食べ、最後は
支援者から、クリスマスプレゼントの
“カレンダー”が配られると親子一緒
に、カレンダーの写真や支援者からの
メッセージに感動し、喜んでいまし

た。

最後は、本物の?!サンタさんも登場
し、全員で記念写真を撮りました。短
い時間ではありましたが、保護者の皆
様も、利用者の皆様も、いい表情をさ
れ、楽しい時間を過ごすことができました。
しかし、今回は、体調を崩され
たり、用事があったりして、保護者も
利用者も全員、参加することができな
く、とても残念でした。そこで、次回
は、保護者の皆様も、利用者の皆様も
全員で参加し、去年以上に盛り上がる
ことを約束し、クリスマス会を終えま
した。

今年1年も心豊かに、笑顔がたえな
い毎日を過ごしていきたいと願ってお
ります。そして、みんなが体調を崩す
ことなく、健康で暮らしていけるよう
に、支援していきたいと思えます。
本年もどうぞよろしくお願いま
す。(永山)

あいのわ支援センターだより

皆様、明けましておめでとござい
ます。本年もどうぞよろしくお願いま
します。

さて、あいのわ支援センター谷中
は、ケアホーム(谷中ハウス)へのご入
居が12月から開始となりました。毎
週、利用者様が少しずつ増えていき、
1月の初旬には12名の全利用者様のこ

入居が完了しました。最初は手探りの
支援から始まりましたが、今では少
ずつケアホームの生活の形ができてつ
つあります。

先日、谷中ハウス初の行事として、
クリスマス会を行いました。1週間程
前から空いている時間を使って皆様で
輪飾りや色とりどりの花を作りクリ
スマムードを盛り上げていきました。
当日はまず、谷中ハウス自慢のホーム
ベーカリーを使い、パン作りを行いま
した。焼きあがったパンは大好評で、
クリスマスディナーのメインディッ
シュ?としておい

しくいただきました。
また会のサブ
ライズ出し物とし
て、利用者様下さ
んによく似たサン
タクロースが〇副
施設長によく似た
トナカイの引く車
いすに乗って登場！参加者全員にカ
ードのプレゼントを配りながら記念写真
をパチリ。そして、おいしいご飯のあ
とはゲーム大会やカラオケをして、皆
様とても良い笑顔で楽しいひと時を過
ごしていただけたのではないかと思
います。この先も利用者様の笑顔が
ますます増えていくよう支援員一同努
めてまいります。ご協力のほどよろしくお
願いたします。(青木)



成人おめでとございませう

平成23年成人を祝う会が各事業所で
行われました。会には来賓に足立区肢
体不自由児者父母の会会長、城北特別
支援学校教諭のご臨席を賜り温かい励
ましのお言葉をいただきました。

法人から理事長、副理事長、施設長
事務局長が出席し成人を祝いました。

成人した皆さん、沢山の仲間をつく
り、目標をもち互いに励ましあい未来
を築きあげて下さい。おめでとござい
ます。

成人者氏名

- 足立あかしあ園
- 繁田 愛平さん
- 鳥 香澄さん
- 綾瀬あかしあ園
- 安達 洋介さん
- 竹の塚あかしあ杜 のぞみ
- 渡久地 政貴さん
- 大谷田就芳支援センター
- 鈴木 瞬さん
- 大場 洋平さん



投稿欄

(俳句・川柳など募集中です)

ひた走るたすき見守る冬の富士
 書初めの筆の重さのひと呼吸
 風邪の子へ土産を持てば脚急ぐ

今寺真知子
 今寺真知子
 秋山啓司

後援会だより

(平成22年11月〜12月) 敬称略、順不同

◇特別会員 (101万円)

中村稔、堀江日出子、綾瀬あかしあ園保護者

◇一般会員 (103千円・5千円)

鈴木圭子、小林則子

◇寄付者

西村文雄、本橋久美、青井5丁目供給公社
 佐久間庸夫、青井住区センター、野澤カツコ
 都立青井高等学校生徒会・濱野良平
 足立区肢体不自由児者父母の会、綾瀬あかしあ園保護者会

★今年も多くの皆様からの後援会へのご加入、ご寄付 有り難うございます。今後ともご支援よろしくお願い致します。★

竹の塚あかしあの杜「なごみ」
 短期入所事業利用状況 (平成22年11月〜12月)

延べ利用人数	97名	内児童	14名
延べ利用日数	235泊	内児童	29泊

編集後記

平成23年、卯年の東京は穏やかな三が日になりました。

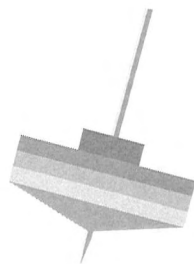
「餅花に豊あをあを匂ひけり」お正月も15日は、小正月ですね。私の田舎でも部屋の四隅に餅花をかざりました。繭の形のだんごを木の枝にさすお手伝いをしたことを懐かしく思い出します。

その頃は、それが何を意味するのかなんて思わなかったのですが、稲や農作物の豊作を祈願したものだったようです。

又、女正月とも言い叔母さんやお祖母さん達が得意のお料理を持ち寄り、女子会を開いていました。現代のように、電化製品もあまりなく、家事や農作業にこまねズミのように働いていた母達の農閑期のささやかなお楽しみだったんですね。

「新しき 年の初めに 思うどち い群れて居れば 嬉しくもあれば」さて、法人の行事は、各施設の成人式から始まりました。利用者や家族にとっては本当に長い、20年間だったと思います。

通院・訓練の毎日を重ね障害を受け止め、通所先や学校で仲間との出会いがあり、うれしい事、悲しい事が凝縮した歳月をへてのご成人！心からのおめでとうを申し上げます。



●後援会加入のおねがい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願い、財政的な援助をして頂くことを主として後援会活動を行っております。

一人でも多くの方々にご賛同いただき、後援会への加入をご支援をお願い致します。申し込み・お問合せは後援会事務局 電話(3849) 1188まで